

「子どもの言葉を真剣に聞く。」

所長 坂中 裕一

ある学校を訪問した際、校長室において30年ほど前に勤務校の校内研修で指導をいただいた校長先生の写真を拝見することができた。当時は、鹿児島市立清水小学校の校長で国語を専門にされていたが、この地区にもお勤めになられていたのだと懐かしむことができた。

この校長先生は、今でもよく南日本新聞の「ひろば」欄に投稿される。今年5月の投稿には、「子どもの感覚と感動は常にみずみずしく、大人の想像の枠外で自由な広がりを見せる。その自由な感覚に、大人や親や教師が堅い『概念のふた』をかぶせてはいけない。」と綴られていた。授業が上手になりたい一心で実践に明け暮れていた頃を思い出させてくれる内容で胸が熱くなる思いがした。

授業中、教師にとって都合の良い答えを期待して子どもの言葉を聞くと、子どもが言いたかったことの本質や発想の豊かさを聞き逃してしまうことが多い。そして、黒板には正解のみがずらりと板書され、授業自体が面白みを欠いたものとなってしまふ。子どもの発表の中には、表向きは間違いであっても、実は、授業の核心に迫る内容を含んでいることがよくある。要するに「素晴らしい間違い。」である。子どもの話を真剣に聞くことをしないばかりに、そこへの気付きもなく、授業を終えてしまうことが多くないだろうか。このことは、校長先生が述べられていた「大人や親や教師が堅い『概念のふた』をかぶせてはいけない。」ことに通じると思う。

子どもの話は、教師の頭の中をフラットにして真剣に聞いてほしい。真剣に聞いて、「なぜ、そう考えたの?」、「なぜ、そう思ったの?」、「なぜ、そう感じたの?」と問うてほしい。そうすれば、授業が断然面白くなるはずである。

交通法規の遵守があなたを守る!

学校職員は、児童生徒に対して交通法令の遵守について指導する立場にあります。交通法規の遵守を改めて自覚し、速度超過及び交通事故等の防止に努めてください。

あなたの運転を振り返ってください。

- 交通法規の遵守を自覚した運転ですか。
- 時間と心に「ゆとり」を持っていますか。
- 自分の運転技術を過信した、漫然運転をしていませんか。
- 「自分にも事故が起こりうる」という危機意識を持っていますか。
- 「無事に帰ってきてほしい」と願う家族の思いを忘れていませんか。



心配している気持ちを、ただ伝える ～命を守るために～

新型コロナウイルス禍で子供の自殺が深刻化しています。昨年は、小中学生と高校生が過去最多の499人に上り、21年1月～6月の暫定値も前年同時期より31人多い234人となっています。

増加する自殺を予防するために、周囲の大人が子供の言動に丁寧に接し、「違和感に気づいたら声をかける」「言葉に出して心配していることを伝える」ことが大切です。

また、子供が問題や悩みを抱えたときや生きるつらさを感じたときどどのように助けを求めればよいのかを具体的かつ実践的な方法で学ぶ「SOSの出し方に関する授業」の全学校の実施を推進します。



【地区モデル校・枕崎市立枕崎中学校】

～ 前期の取組を振り返って ～

「学びを止めない」学校の取組

～ 1学期学校訪問～

1学期、各市教育委員会と合同で6校（川辺小学校・桜山小学校・万世小学校・万世中学校・枕崎中学校・西指宿中学校）の学校を訪問しました。

1人1台タブレット端末を効果的に活用した授業づくりやAL（主体的・対話的で深い学び）とUD（ユニバーサルデザイン）を踏まえた授業改善、「学校たのしいと」「SNSチェックシート」を活用した教育相談の充実を図る取組、「一校一運動」「チャレンジかごしま」を活用した体力向上の取組等、学校によさや特色を生かした教育活動が家庭や地域と連携を図りながら展開されている様子をうかがうことができました。

新型コロナウイルス感染症予防を考慮しながら「学びを止めない」取組に最善を尽くす学校の姿に勇気づけられました。

教員の授業力向上への取組

～ オープンサポート教科フォーラム～

7月30日（金）に、南九州市川辺ひまわり館において「南薩地区オープンサポート教科フォーラム」を開催し、地区内の小・中・義務教育学校から38人の先生方に参加していただきました。

【外国語・外国語活動分科会】

丹波小学校の研究の発表や講師による「外国語を学ぶ必要性をもたせる」講話に、2学期からの指導に生かしたいとの声が聞かれました。



【外国語分科会の様子】

【道徳科分科会】

教材文をもとに、本時案までをグループで作上げる演習を行い、5つのグループそれぞれの発表に感嘆の声が上がっていました。

本会は毎年開催しています。来年度の参加をお待ちしています。

教員の専門性を高める取組

南薩地区養護教諭研修会

6月25日（金）、ふれあいプラザなのはな館において、南薩地区養護教諭研修会を開催しました。県保健体育課の基永指導主事を講師として招き、日常生活や学校生活における悩みや不安を抱える児童生徒に対する具体的なカウンセリングの技法や進め方について学ぶことができました。

南薩地区栄養教諭研修会

7月2日（金）、南九州市知覧文化会館において、南薩地区栄養教諭研修会を開催しました。県食育シニアアドバイザーの外山澄子先生を講師として招き、学校等における食に関する指導の充実や地域食材を活用した食育の推進について学ぶことができました。

また、栄養教諭が参画する「食に関する指導」の成果と課題について研究協議を行い、互いの取組について意見交換することができました。

南薩地区ジュニア・リーダー育成の取組

7月25日（日）に、南薩・北薩地区子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会がオンラインで開催されました。南薩地区4市の中学生・高校生のジュニア・リーダーたちが、実行委員会を組織し、交流のための準備を行いました。

当日は、阿久根市、出水市、さつま町のジュニア・リーダーとそれぞれの活動内容紹介や、地域の紹介を行いお互いの資質を高めることができました。オンラインによる交流

は初めてでしたが、子どもたちはそれぞれに工夫を凝らし、充実した交流がなされました。



【オンラインによる情報交換】